

メディアコンペティションプロジェクトの活動

3I 渡邊 加菜

本年度のメディアコンペティションプロジェクトリーダーを務めさせていただきました、わたなべと申します。

初めにメディアコンペティションについての概要からお話します。

メディアコンペティションとは、学生チャレンジプロジェクトやロボットコンテスト、プログラミングコンテストなどの学生が主体となっている団体の活動内容の発表をサポートする団体です。

主な活動時期は夏休み終了後から高専祭終了までの非常に短い期間です。その時期しか活動しないというもあり期間中は非常にあわただしく、いつの間にか高専祭が終わっている、などということが起こります。

本年度の活動は、例年通り高専祭での各団体の展示場所の提供、発表のサポートなどをさせていただきました。

本年度の参加団体は学生チャレンジプロジェクトから「触れよう！バーチャルテキサン!」、他にロボットコンテスト、プログラミングコンテストから各1団体の計3団体です。

展示内容は各団体の活動内容をパネルとして展示、それぞれの代表者がパネルについての説明をしていくという形式で行わせていただきました。

また、参加団体が例年よりも少ない中、例年より多くの方に足を運んでいただき非常に喜ばしく感じました。中でもロボットコンテストは知名度も高く、実際にコンテストに出場していたロボットの実演をしていただけたので数多くの来場者に喜んでいただき、その結果として他2団体の活動報告も多くの方に見ていただけ、とても良い結果となりました。

本年度の活動報告については以上です。

来年度以降、当プロジェクトがもし残るのであれば、プロジェクトを引き継ぐ後輩が来年度以降もさらにより良いものを目指していただけることを祈ります。

また、他のプロジェクトに比べ参加人数が少ない中、頼りのないリーダーで委員の皆様にはご迷惑をおかけしたとともに、非常に助けられました。この場をお借りして一言お礼申し上げます。

ありがとうございました。